

## 2 . 防脱臭技術の内容

防脱臭技術の内容、つまり臭気対策の方法は非常に多く、臭気を出さない工夫（臭気発生抑制）、効果的臭気捕集、効率的脱臭装置の設置および適切な維持管理までを考えた対策が必要である。また、発生源に応じた防脱臭技術にも、その規模と費用において大きな相違がある。苦情の解決や未然防止のため、必要にして十分な対策を講ずることが肝要である。

### < 解説 >

防脱臭技術の適用を考える場合、その範囲と内容として次のような点を検討することが必要である。

- 臭気発生を抑制するか軽減する工夫
- 効果的な臭気の捕集
- 適切な脱臭装置・システムの設置
- 適切な維持管理

防脱臭対策の第一の基本は、可能な限り臭気を発生させないよう発生源での対策を行うことである。発生源での対策には原料・材料の変更、作業内容の改善、施設や機械の構造や配置の変更などが考えられる。つぎに、発生源での対策により臭気の発生を十分に軽減した上で臭気を効率よく捕集して排気又は脱臭装置に導くことが重要である。

その際には臭気の性状を的確に把握して、どのような臭気を捕集するのか、また局所排気や全体排気をどこから、どんな方法で、どれだけの風量を吸引捕集するのか、又は排気するのかについての検討を進める必要がある。

実際に効率的な脱臭装置を選定する場合の留意点や適切な維持管理については、3章以下に詳述するが、防脱臭技術を適用する際に検討すべき一連の事項と概念を図2-1、2に示す。

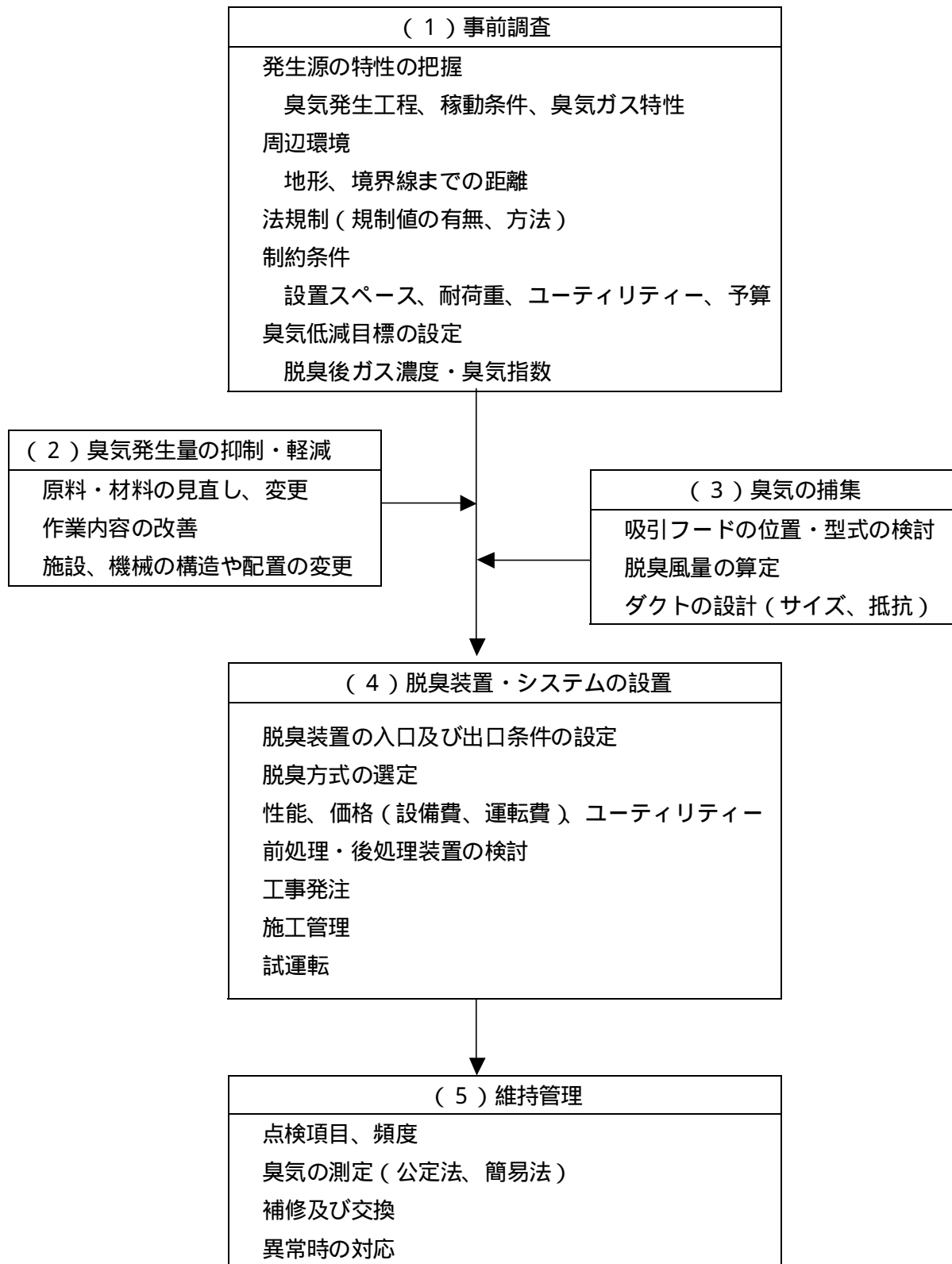


図 2 - 1 防脱臭技術の導入フロー

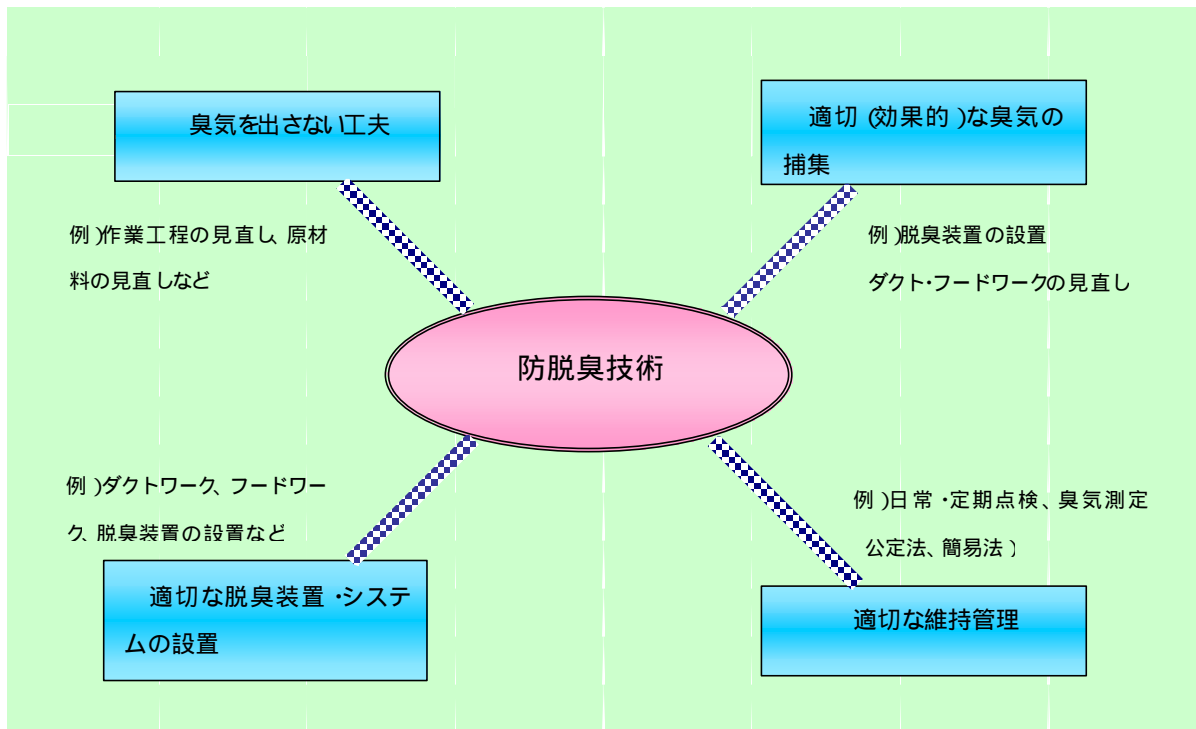


図 2 - 2 防脱臭技術の概念図